

日高町人事行政の運営等の状況（平成27年度）

○職員の任免および職員数に関する状況

職員数

	平成26年度末 職員数	平成27年度中		平成27年度末 職員数
		採用者数	退職者数	
行政職	84	4	3	85

○職員の給与の状況

1 総括

(1) 人件費の状況（普通会計決算）

区分	住民基本台帳人口 (平成27年1月1日)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A	(参考) 25年度の人件費率
26年度	人 7,906	千円 3,968,897	千円 262,102	千円 716,878	% 18.1	% 16.2

(2) 職員給与費の状況（普通会計決算）

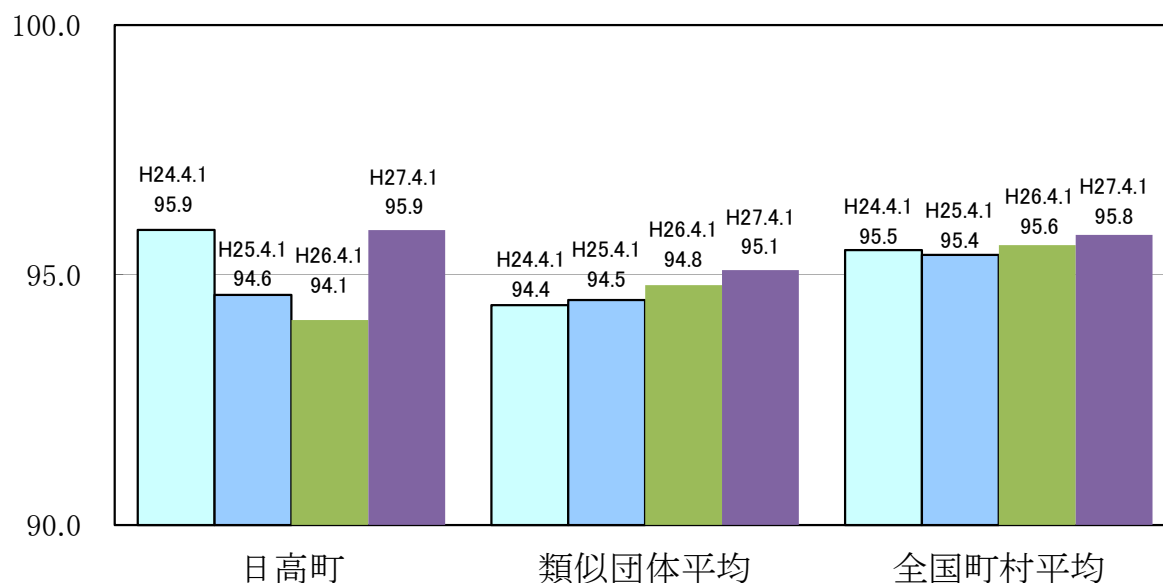
区分	職員数 A	給与費				一人当たり 給与費 B/A	(参考)類似団体平均 一人当たり給与費
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B		
26年度	人 74	千円 285,939	千円 32,272	千円 107,894	千円 426,105	千円 5,758	千円 5,562

(注) 1 職員手当には退職手当を含まない。

2 職員数は、平成26年4月1日現在の人数である。

3 給与費については、任期付短時間勤務職員(再任用職員(短時間勤務))の給与費が含まれており、職員数には当該職員を含んでいない。

(3) ラスパイレス指数の状況



- (注) 1 ラスパイレス指数とは、全地方公共団体の一般行政職の給料月額を同一の基準で比較するため、国の職員数(構成)を用いて、学歴や経験年数の差による影響を補正し、国の行政職俸給表(一)適用職員の俸給月額を
2 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものである。
3 平成24年及び平成25年は、国家公務員の時限的な(2年間)給与改定・臨時特例法による給与減額措置がないとした場合の値である。

(4) 給与制度の総合的見直しの実施状況について

【概要】国の給与制度の総合的見直しにおいては、俸給表の水準の平均2%の引下げ及び地域手当の支給割合の見直し等に取り組むとされている。

① 給料表の見直し

[**実施** 未実施]

実施内容(平均引下げ率、実施(実施予定)時期、経過措置の有無等具体的な内容(未実施の場合には、その理由))

(給料表の改定実施時期) 平成27年4月1日
 (内容) 一般行政職の給料表について、国の見直し内容を踏まえ、平均2%引下げ。若年層(1級(全号俸)及び2級の初任給に係る号俸)については、引下げなし。高齢層(3級以上の級の高位号俸)については、最大4%程度引下げ。激変緩和のため、3年間(平成30年3月31日まで)の経過措置(現給保障)を実施。

② その他の見直し内容

管理職員特別勤務手当について、国と同様に見直しを実施。(平成27年4月1日実施)

(5) 特記事項

2 職員の平均給与月額、初任給等の状況

(1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況(平成27年4月1日現在)

① 一般行政職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国比較ベース)
日高町	43.9 歳	324,159 円	351,393 円	342,095 円
和歌山県	43.2 歳	333,452 円	413,374 円	369,590 円
国	43.5 歳	334,283 円	—	408,996 円
類似団体	42.2 歳	307,472 円	360,858 円	333,354 円

② 技能労務職

区分	公務員					民間			参考 A/B
	平均年齢	職員数	平均給料月額	平均給与月額 (A)	平均給与月額 (国比較ベース)	対応する民間 の類似職種	平均年齢	平均給与月額 (B)	
日高町 (調理士)	53.1 歳	2 人	293,450 円	318,701 円	303,200 円	調理士(男女)	44.4 歳	229,900 円	1.39
和歌山県	53.7 歳	60 人	313,527 円	340,190 円	329,671 円	—	—	—	—
国	50.2 歳	2,994 人	289,141 円	— 円	328,318 円	—	—	—	—
類似団体	49.8 歳	6 人	273,169 円	297,250 円	283,748 円	—	—	—	—

区 分	参 考		
	年収ベース(試算値)の比較		
	公務員(C)	民間(D)	C/D
日高町 (調理士)	5,113,373 円	3,078,800 円	1.66

※民間データは、賃金構造基本統計調査において公表されているデータを使用している。(平成24～26年の3ヶ年平均)

※技能労務職の職種と民間の職種等の比較にあたり、年齢、業務内容、雇用形態等の点において完全に一致しているものではない。

※年収ベースの「公務員(C)」及び「民間(D)」のデータは、それぞれ平均給与月額を12倍したものに、公務員においては前年度に支給された期末・勤勉手当、民間においては前年に支給された年間賞与の額を加えた試算値である。

- (注) 1 「平均給料月額」とは、平成27年4月1日現在における各職種ごとの職員の基本給の平均である。
 2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当などのすべての諸手当の額を合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものである。
 また、「平均給与月額(国比較ベース)」は、比較のため、国家公務員と同じベース(=時間外勤務手当等おを除いたもの)で算出している。
 3 国家公務員欄における「平均給料月額」及び「平均給与月額(国比較ベース)」の括弧書きは、給与改定・臨時特例法による給与減額措置がないとした場合の値(減額前)である。

(2) 職員の初任給の状況(平成27年4月1日現在)

区 分		日高町	和歌山県	国
一般行政職	大 学 卒	174,200 円	180,800 円	174,200 円
	高 校 卒	142,100 円	146,500 円	142,100 円
技能労務職	高 校 卒	142,100 円	144,200 円	—
	中 学 卒	128,600 円	131,500 円	—

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況(平成27年4月1日現在)

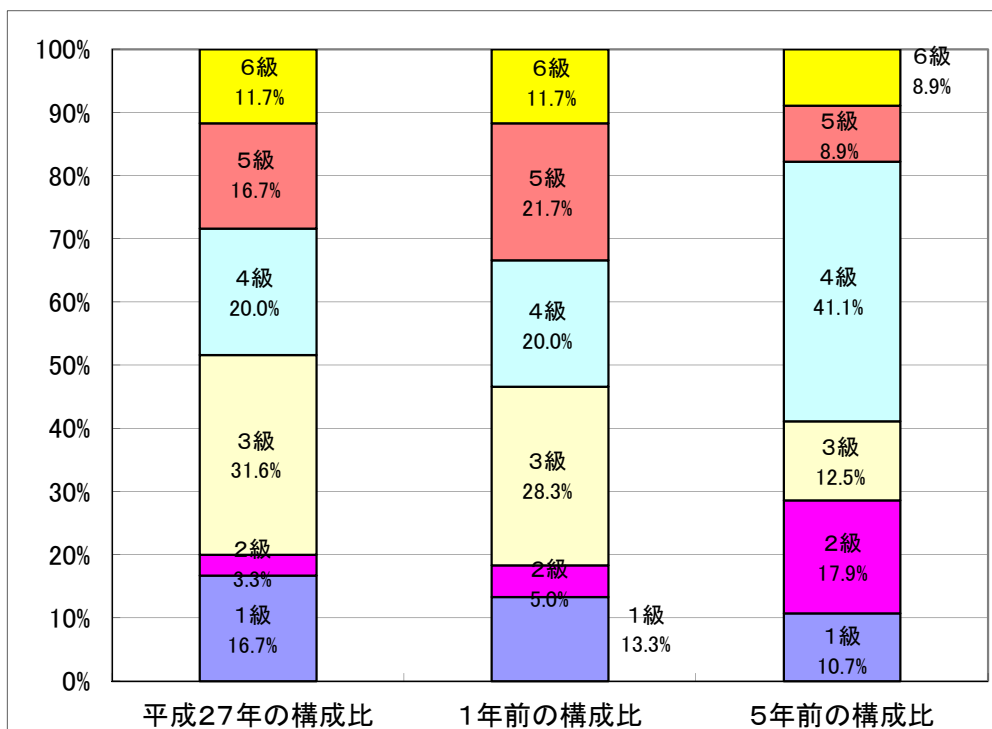
区 分		経験年数10年	経験年数20年	経験年数25年	経験年数30年
一般行政職	大 学 卒	269,500 円	334,400 円	369,600 円	388,200 円
	高 校 卒	204,750 円	271,200 円	348,800 円	370,900 円
技能労務職	高 校 卒	— 円	— 円	261,100 円	— 円
	中 学 卒	— 円	— 円	— 円	— 円

3 一般行政職の級別職員数等の状況

(1) 一般行政職の級別職員数の状況（平成26年4月1日現在）

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比
6級	公室長・参事・課長	7人	11.7%
5級	副課長・主幹	10人	16.7%
4級	課長補佐	12人	20.0%
3級	係長	19人	31.6%
2級	主査	2人	3.3%
1級	主事	10人	16.7%

- (注) 1 日高町の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数である。
 2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である。



(2) 昇給への勤務成績の反映状況

1. 勤務成績の評定の実施状況

地方公務員法第40条第1項に基づき、毎年1月1日を評定日として全職員に対して勤務成績の評価を実施。(内容の詳細については、職員の勤務成績の評定に関する規則を参照)平成17年度に全職員を対象とした試行を行い、平成18年4月から全職員を対象とした能力に基づく人事評価を実施している。

2. 昇給への勤務成績の反映状況

全職員対象に能力に基づく評価を実施。
 その評価結果に基づき昇給区分(0~6号級)を決定。

平成28年1月1日の昇給において、一般行政職の職員60名中、上位区分(3及び6号級)に決定された者が30名(50.0%)、標準区分(2~4号級)に決定された者が30名(50.0%)、下位区分(0及び2号級)に決定された者が0名(0.0%)であった。

4 職員の手当の状況

(1) 期末手当・勤勉手当

日高町	和歌山県	国
1人当たり平均支給額(平成26年度) 1,458 千円	1人当たり平均支給額(平成26年度) 1,594 千円	—
(平成26年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 勤勉手当 1.50 月分 (—)月分 (—)月分	(平成26年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 勤勉手当 1.50 月分 (1.45)月分 (0.70)月分	(平成26年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 勤勉手当 1.50 月分 (1.45)月分 (0.70)月分
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 役職加算 5%・10%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 役職加算 5~20% 管理職加算 10~25%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 役職加算 5~20% 管理職加算 10~25%

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合である。

【参考】 勤勉手当への勤務成績の反映状況(一般行政職)

<p>1. 勤務成績の評定の実施状況 地方公務員法第40条第1項に基づき、毎年1月1日を評定日として全職員に対して勤務成績の評価を実施。(内容の詳細については、職員の勤務成績の評定に関する規則を参照)平成17年度に全職員を対象とした試行を行い、平成18年4月から全職員を対象とした能力に基づく人事評価を実施している。</p> <p>2. 勤勉手当への勤務成績の反映状況(一般行政職) 全職員対象に能力に基づく評価を実施。その評価結果に基づき、成績率(82未満/100~106未満/100)を決定。 平成27年12月の勤勉手当において、一般行政職60名中、上位区分(94以上/100~106未満/100)に決定された者が20名(33.3%)、標準区分(82/100)に決定された者が40名(66.7%)、下位区分(82未満/100)に決定された者が0名(0.0%)であった。</p>

(2) 退職手当(平成27年4月1日現在)

日高町	国
(支給率) 自己都合 応募認定・定年	(支給率) 自己都合 応募認定・定年
勤続20年 20.445 月分 25.55625 月分	勤続20年 20.445 月分 25.55625 月分
勤続25年 29.145 月分 34.5825 月分	勤続25年 29.145 月分 34.5825 月分
勤続35年 41.325 月分 49.59 月分	勤続35年 41.325 月分 49.59 月分
最高限度額 49.59 月分 49.59 月分	最高限度額 49.59 月分 49.59 月分
その他の加算措置 定年前早期退職特例措置(割増率2~45%)	その他の加算措置 定年前早期退職特例措置(割増率2~45%)
1人当たり平均支給額 23,045 千円	

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、平成26年度に退職した職員に支給された平均額である。

(3) 地域手当 該当なし

(4) 特殊勤務手当 平成11年4月1日より廃止

(5) 時間外勤務手当

支給実績（平成26年度決算）	13,820 千円
職員1人当たり平均支給年額（平成26年度決算）	187 千円
支給実績（平成25年度決算）	7,215 千円
職員1人当たり平均支給年額（平成25年度決算）	98 千円

(注) 職員1人当たり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績(○年度決算)」と同じ年度の4月1日現在の総職員数(管理職員、教育職員等、制度上時間外勤務手当の支給対象とはならない職員を除く。)であり、短時間勤務職員を含む。

(6) その他の手当（平成27年4月1日現在）

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績 (26年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (26年度決算)
扶養手当	<ul style="list-style-type: none"> ・扶養親族である配偶者を有する場合 配偶者 13,000円 第1子以降1人につき 6,500円 ・配偶者がいない場合 第1子 11,000円 第2子以降1人につき 6,500円 ・扶養親族でない配偶者を有する場合 第1子以降1人につき 6,500円 ・満15歳に達する日後の最初の4月1日から満22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間の子1人につき 5,000円 	同	—	11,583 千円	241,313 円
通勤手当	交通機関利用者に運賃相当額を支給。 交通用具使用者には、片道2km以上である時、1kmにつき500円とし、その金額が6,500円を超えるときは、その額と6,500円との差額の2分の1(その差額の2分の1が2,000円を超えるときは2,000円)を6,500円に加算した額	異		2,029 千円	39,019 円
管理職手当	参事、課長、副課長 20,000円 主幹 12,000円	異	給料の8%～25%	3,979 千円	221,056 円

5 特別職の報酬等の状況（平成27年4月1日現在）

区 分		給 料	月 額	等
給 料	町 長	675,000 円	(参考)類似団体における最高/最低額	
	副 町 長	558,000 円	850,000 円/	350,000 円
報 酬	議 長	280,000 円	710,000 円/	360,000 円
	副 議 長	230,000 円	365,000 円/	205,000 円
	議 員	210,000 円	320,000 円/	175,000 円
期 末 手 当	町 長	(平成26年度支給割合)		
	副 町 長	2.60 月分		
退 職 手 当	議 長	(平成26年度支給割合)		
	副 議 長	2.60 月分		
備 考	町 長	(算定方式)	(1期の手当額)	(支給時期)
	副 町 長	67万5千円×在職月数×0.433	14,029,200 円	在職中通算、任期毎の選択制
		55万8千円×在職月数×0.258	6,910,272 円	在職中通算、任期毎の選択制

- (注) 1 給料及び報酬の()内は、減額措置を行う前の金額である。
 2 退職手当の「1期の手当額」は、4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期(4年=48月)勤めた場合における退職手当の見込額である。

6 職員数の状況

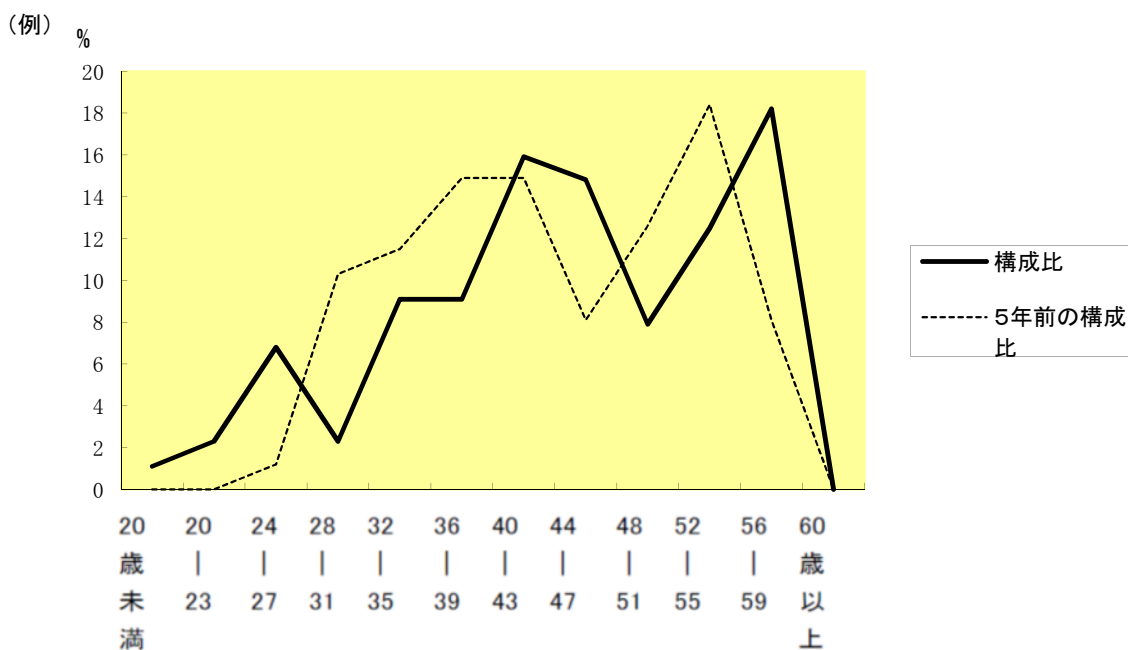
(1) 部門別職員数の状況と主な増減理由

(各年4月1日現在)

区 分		職 員 数		対前年 増減数	主 な 増 減 理 由	
		平成27年	平成26年			
普 通 会 計 部 門	一 般 行 政 部 門	議会	2	2	0	
		総務	19	19	0	
		税務	7	7	0	
		民生	20	22	△2	退職不補充
		衛生	2	2	0	
		農林水産	5	5	0	
		商工	2	2	0	
		土木	4	4	0	
	計	61	63	△2	<参考> 人口1万人当たり職員数 77.16 人 (類似団体の人口1万人当たり職員数 101.04 人)	
	教育部門	11	12	△1	教育長が対象外となったため	
消防部門	0	0	0			
小 計	72	75	△3	<参考> 人口1万人当たり職員数 91.07 人 (類似団体の人口1万人当たり職員数 124.69 人)		
公 営 企 業 計 等 部 門	水道	3	3	0		
	下水道	3	3	0		
	その他	10	10	0		
	小 計	16	16	0		
合 計	88	91	△3	<参考> 人口1万人当たり職員数 111.31 人		
		[105]	[105]	[0]		

- (注) 1 職員数は一般職に属する職員数である。
 2 []内は、条例定数の合計である。

(2) 年齢別職員構成の状況（平成27年4月1日現在）



区分	20歳未満	20歳	24歳	28歳	32歳	36歳	40歳	44歳	48歳	52歳	56歳	60歳	計
	1	2	6	2	8	8	14	13	7	11	16	0	88

(3) 職員数の推移

(単位：人・%)

部門別	年度						過去5年間の増減数(率)
	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	
一般行政	66	66	65	63	63	61	△5 (△7.6%)
教育	10	10	11	12	12	11	1 (10.0%)
普通会計計	76	76	76	75	75	72	△4 (△5.3%)
公営企業等会計計	12	15	15	15	16	16	4 (33.3%)
総合計	88	91	91	90	91	88	0 (0.0%)

(注) 1 各年における定員管理調査において報告した部門別職員数。

2 合併した団体にあつては、合併前の年については合併前の旧団体の合計職員数。

7 公営企業職員の状況

(1) 水道事業

① 職員給与費の状況

ア 決算

区 分	総費用 A	純損益又は実 質収支	職員給与費 B	総費用に占める 職員給与費比率 B/A	(参考) 25年度の総費用に占 める職員給与費比率
26年度	千円 285,922	千円 △ 52,449	千円 11,837	% 4.1	% 5.4

区 分	職員数 A	給 与 費				一人当たり 給与費 B/A
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B	
26年度	人 3	千円 7,932	千円 977	千円 2,928	千円 11,837	千円 3,946

市町村(政令指定都市を除く) 平均一人当たり給与費
千円 6,219

- (注) 1 職員手当には退職給与金を含まない。
2 職員数は、平成27年3月31日現在の人数である。

イ 特記事項

② 職員の基本給、平均月収額及び平均年齢の状況 (平成27年4月1日現在)

区 分	平均年齢	基本給	平均月収額
日 高 町	42.3 歳	346,763 円	493,215 円
団 体 平 均	44.9 歳	348,021 円	517,229 円
事 業 者	— 歳	— 円	— 円

(注) 平均月収額には、期末・勤勉手当等を含む。

③ 職員の手当の状況

ア 期末手当・勤勉手当

日高町	一般行政職
1人当たり平均支給額(26年度) 1,464 千円	1人当たり平均支給額(26年度) 1,458 千円
(25年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 (—)月分 勤勉手当 1.50 月分 (—)月分	(25年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 (—)月分 勤勉手当 1.50 月分 (—)月分
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 役職加算 5%・10%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 役職加算 5%・10%

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合である。

イ 退職手当（平成27年4月1日現在）

日高町			一般行政職		
(支給率)	自己都合	応募認定・定年	(支給率)	自己都合	応募認定・定年
勤続20年	20.445 月分	25.55625 月分	勤続20年	20.445 月分	25.55625 月分
勤続25年	29.145 月分	34.5825 月分	勤続25年	29.145 月分	34.5825 月分
勤続35年	41.325 月分	49.59 月分	勤続35年	41.325 月分	49.59 月分
最高限度額	49.59 月分	49.59 月分	最高限度額	49.59 月分	49.59 月分
その他の加算措置	制度なし		その他の加算措置	制度なし	
	定年前早期退職特例措置(割増率2～20%)			定年前早期退職特例措置(割増率2～20%)	
1人当たり平均支給額	— 千円		1人当たり平均支給額	23,045 千円	

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、平成26年度に退職した職員に支給された平均額である。

ウ 地域手当 該当なし

エ 特殊勤務手当 平成11年4月1日より廃止

オ 時間外勤務手当

支給実績(26年度決算)	280 千円
職員1人当たり平均支給年額(26年度決算)	140 千円
支給実績(25年度決算)	209 千円
職員1人当たり平均支給年額(25年度決算)	105 千円

(注) 1 時間外勤務手当には、休日勤務手当を含む。

2 職員1人当たり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績(○年度決算)」と同じ年度の4月1日現在の総職員数(管理職員、教育職員等、制度上時間外勤務手当の支給対象とはならない職員を除く。)であり、短時間勤務職員を含む。

カ その他の手当（平成27年4月1日現在）

手当名	内容及び支給単価	一般行政職の制度との異同	一般行政職の制度と異なる内容	支給実績(26年度決算)	支給職員1人当たり平均支給年額(26年度決算)
扶養手当	<ul style="list-style-type: none"> 扶養親族である配偶者を有する場合 配偶者 13,000円 第1子以降1人につき 6,500円 配偶者がいない場合 第1子 11,000円 第2子以降1人につき 6,500円 扶養親族でない配偶者を有する場合 第1子以降1人につき 6,500円 満15歳に達する日後の最初の4月1日から満22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間の子1人につき 5,000円 	同	—	390 千円	390,000 円
通勤手当	交通機関利用者に運賃相当額を支給。 交通用具使用者には、片道2km以上である時、1kmにつき500円とし、その金額が6,500円を超えるときは、その額と6,500円との差額の2分の1(その差額の2分の1が2,000円を超えるときは2,000円)を6,500円に加算した額	異	—	61 千円	30,300 円

○職員の勤務時間その他の勤務条件の状況

(平成28年4月1日現在)

開始時刻	終了時刻	休憩	休息
8時30分	17時15分	12時～13時	

○職員の分限および懲戒処分の状況

・ 職員の分限処分の状況 (平成27年度)

降任	免職	休職	降給
—	—	—	—

・ 職員の懲戒処分の状況 (平成27年度)

戒告	減給	停職	免職
—	—	—	—

○職員のサービスの状況

年次有給休暇の状況について (平成27年)

平均取得日数	消化率
8.4日	20.9%

育児休業および部分休業の状況について (平成27年度)

	育児休業 取得者数	うち両休業 取得者数		部分休業 取得者数
		育児休業	部分休業	
男性職員	—	—	—	—
	—	—	—	—
女性職員	—	—	—	—
	2	—	—	—
計	—	—	—	—
	2	—	—	—

(注) 上段は平成27年度に新たに取得した者、下段には平成26年度以前から引き続き取得している者の人数。

○職員の研修および勤務成績の評定の状況

【研修】

複雑化する行政課題に柔軟かつ的確に対応でき、時代に即した質の高い行政サービスを提供できる職員を育成すべく、計画的に和歌山県市町村職員研修協議会等に職員を派遣している。

【勤務成績】

職員の職務で発揮された能力や業績について、毎年評価を行い、昇格・昇級・勤勉手当などに反映させている。

○職員の福祉及び利益の保護の状況

【公務災害・通勤災害の認定件数】

(平成27年度)

	件 数
公務災害	1件
通勤災害	—

【措置要求などの条件】

(平成27年度)

	件 数
勤務条件についての措置要求	—
不利益処分についての不服申立	—

【職員の健康診断】

職員の健康状態の把握および健康障害や疾病の早期発見のため、年1回健康診断を実施している。

○障害者雇用率

法定雇用率(障害者の雇用の促進等に関する法律)	本町における雇用率(平成27年6月1日現在)
2.3%	1.40%